

3か所のテレワーク拠点の利用により柔軟な働き方、地域活性の実現へ (平成28年度:ふるさとテレワーク推進事業)

事業概要

拠点である3か所の既存のコワーキングスペース及びテレワークセンター施設を中信地域におけるふるさとテレワークの拠点として充実させることによって、都市部から当該地域へのテレワーカーの流入促進、都市部企業の業務分野と当該地域において重点的に支援している産業分野の連携・融合による新たな製品・サービス・産業等の創出、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の実現、地域の活性化等に貢献している。

Knower(s) (松本市)



外観

住所	長野県松本市大手1丁目3番29号 丸今ビル1F
アクセス	JR篠ノ井線松本駅徒歩8分
利用対象者	都内企業のテレワーカー、フリーランス、自営型テレワーカー等
収容人数	コワーキングスペース10名
可能業務	システム開発、顧客サポート等

[URL] <http://knowers.jp/>



内観

Colabo (塩尻市)



外観



内観

住所	長野県塩尻市大門八番町1番27号 塩尻情報プラザ2F
アクセス	JR篠ノ井線塩尻駅徒歩5分
利用対象者	都内企業のテレワーカー、フリーランス、自営型テレワーカー等
収容人数	サテライトオフィス6名、コワーキングスペース10名
可能業務	業務アプリケーション開発、総務経理業務等

塩尻テレワークセンター (塩尻市)



外観



内観

住所	長野県塩尻市大門一番町7番1号 ウイングロード3F
アクセス	JR篠ノ井線塩尻駅徒歩6分
利用対象者	都内企業のテレワーカー、フリーランス、自営型テレワーカー等
収容人数	サテライトオフィス30名、コワーキングスペース10名
可能業務	経費精算業務、与信登録業務等

[URL] <https://telework.soumu.go.jp/cont1-6>

事業詳細

事業名称	コワーキングスペース間交流・連携が生み出す新たな製品・サービス創出事業		
事業主体	一般財団法人長野経済研究所		
支援省庁	総務省	支援事業名	ふるさとテレワーク推進事業(H28)
関係団体	【長野県中信地域ふるさとテレワーク推進コンソーシアム】(一財)長野経済研究所、長野県、松本市、塩尻市、松本商工会議所、(一財)塩尻市振興公社、(株)ノークリサーチ、クラウドット(株)、(株)コミクリ、ネットワンシステムズ(株)		

実績・効果

◆実施類型・人数 ()内は移住人数

類型A	類型B	類型C	類型D	備考
13名(1名)	0名(0名)	12名(0名)	0名(0名)	H30.4.1時点
8名(1名)	0名(0名)	18名(0名)	0名(0名)	H31.4.1時点
8名(1名)	0名(0名)	170名(0名)	0名(0名)	R2.4.1時点
3名(1名)	0名(0名)	173名(0名)	0名(0名)	R3.4.1時点

◆進出企業

ネットワンシステムズ(株)(情報通信業)、(株)コミクリ(ソフトウェア開発業)、Lpixel(株)(ソフトウェア開発)、(株)Res(インターネットビジネス業)等

類型A: 地方のオフィスに、都市部の企業が社員を派遣し、本社機能の一部をテレワークで行う

類型C: クラウドソーシング等を利用し、個人事業主として、又は起業により、都市部の仕事をテレワークで受注する

類型B: 子育てや親の介護を理由に地方への移住を希望する社員が、テレワークで勤務を継続する

類型D: 都市部の企業が、テレワークで働く人材を、新規に地方で採用する

分析・今後の計画・目標

- 塩尻テレワークセンターについて、補助事業整備エリアを含むフロア全体の改修を行ったことにより、地元ワーカーの稼働可能スペースが大幅に拡張され、個人の移動人数が大幅に増加した。
- 令和元年11月に松本市が開設した松本市ICT拠点施設「サザンガク」と連携を図り、地域の特色ある産業のコラボレーションによる新しい事業や雇用の創出を図っていきたい。
- 新型コロナ対策として、在宅業務とのハイブリッド活用を図ることが求められる環境と思われるので、リモートワーカーにとっては働きやすく、つながりがつくれる施設となるよう工夫することが望ましい。